

## 倫理委員会議事録

1. 開催日時 平成23年5月26日(木) 17:00～17:30
2. 開催場所 第一会議室
3. 出席者 橋本副院長、黒木臨床研究部長、仲地事務部長、  
宮平看護部長、八尾生化学研究室長、松本臨床検査技師長、  
古賀委員(外部委員)、山田委員(外部委員)  
  
(記録) 管理課長
4. 審議課題 以下の課題につき、別紙申請書に基づいて代表者から研究内容の説明があり、委員からの質疑の後、審議結果となった。

### 受付番号23-2

課題名 アルコール依存者の支援プログラム開発の試み

代表者名 心理療法士 天野 昌太郎

#### 質疑内容

- ・いつからいつの期間か。  
→期間については武藤先生と委員会が通った後で検討したい。
- ・何年間行うのか。  
→情報収集期間は1週間から2週間程度を考えている。
- ・調査対象者は何名を計画しているのか。  
→20名程度を計画している。
- ・修士論文の研究か。何時までにデータを集めるのか。  
→卒業は来年3月であるので7月から8月までには取りたいと考えている。
- ・共同担当者に高山教授の名前と「アンケートのお願い」の高山教授の下に病院責任者の武藤先生を入れてもらいたい。  
→分かりました。
- ・社会的スキル、ソーシャルサポートの尺度は有効であるという証明はされているのか。  
→相川先生が標準化されており、ソーシャルサポートの尺度も標準化され信頼できるものである。(0.85～0.90)

- ・申請書5.(1)に「・・・シュレッターにて処分する。」とあるが、生データは一定期間保存するようになっているか。生データが消えるのは検証が出来なくなるのでは。  
→病院では行うが大学では管理しない。特に心理系はない。
- ・アルコール依存症者と一般健常者とは同時にしないと能力が曖昧であると比較できない。アルコール群と健常群の区別が必要である。  
→一般の高校生に調査をお願いしたい。
- ・当院の代表は武藤先生か天野心理療法士か。  
→実務は天野心理療法士である。

#### 審議内容

- ・肥前精神医療センターが高度療法を行っているための高山教授からの依頼と思われる。
- ・これで良いと思うが20例できるのか。侵襲的な研究でないので指摘事項を踏まえて承認を出しても良い。(アンケート調査であるので。)
- ・指摘事項を修正した上で承認とする。

#### 審議結果

- 条件付承認とする。
- 指摘事項を修正した上で承認とする。